



# まるこう通信



第25号  
2022年4月  
発行元：丸丸幸  
TEL：047-492-4899  
FAX：047-498-4543  
http://www.marukoh.com/



## エコ・ファクトリー神々廻の森 工場長 挨拶



いつもお世話になっている皆様、こんにちは。  
工場長の木村と申します。弊社エコ・ファクトリー  
神々廻の森工場も、お陰様で9年目を迎えること  
ができました。当初は建設系廃棄物処理をメイン  
とした処分場でしたが、現在は「脱炭素化」に向  
けたリサイクル処理を第一に考え、環境により優  
しい工場に生まれ変わりました！

この数年では、皆様にお伝えしております通り、  
RPFの製造や光学選別機の導入など、自社完結  
型の総合リサイクル工場へと進化し、自社設備を  
最大限に使うことによって、より一層のリサイクル  
の推進に力を入れることができました。

今年度はRPF成型機の増設もあり、更に脱炭素  
化に向けた処理を促進することができますので、  
今後もより良いサービスの提供ができるよう、共  
に進んで参りたいと考えておりますので、どうぞ宜  
しく願い申し上げます！！  
いつでも何なりとご相談くださいませ！



工場長 木村 武史



## RPF成型機増設！！



2022年5月に弊社エコ・ファクトリー神々廻の森に、RPFの成  
型機が1基増設・稼働致します！  
現在は成型機1基で稼働しており、月間約700トンのRPFの製  
造をしておりますが、これにより、RPF製造量を2倍とすること  
が可能となり、月間1,400トンの製造を見込んでおります！  
RPFとは石油・石炭の代替燃料となるため、廃プラスチックの  
有効利用ができ、更なる二酸化炭素排出の抑制、ひいては  
脱炭素化社会への実現に近づくことが可能になります！

### RPF成型機増設による年間CO2削減量見込

RPF年間製造量 = 16,800t = CO2削減量約12,900t - CO2

杉の木約915,900分のCO2削減に貢献できる見込みで  
す。



## 当社の取組が環境省のHPIに 掲載されました！



当社は2020年度に環境省より補助を受け、RPF製造ラインの設置を行いました。  
この補助とは、地球温暖化対策のための税を原資としたエネルギー対策特別会計を活用し、  
再エネや省エネ設備を導入することで二酸化炭素(CO2)削減を実現する補助事業です。  
これについては、省エネや再エネ事業等も含まれており、所謂カーボンニュートラル(脱炭素  
化社会)の実現に向けた取組の補助となります。

数ある採択企業の中から「**廃棄物・リサイクル分野の脱炭素化促進事業**」という分野で、当社の  
取り組みを高く評価して頂き実用例として紹介されました。環境省からこの様に評価されま  
したことは弊社としては大変嬉しく思っております。今後も多くのご期待にお応えするよう取り  
組んで参りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

平成31年度 低炭素型設備等導入支援事業  
新しい成型機の導入によるRPF製造歩留まりの向上

事業概要	主要導入設備 従来設備 選別のための選別機 導入設備 RPF製造設備(選別機、成型機等)
事業名称 株式会社丸幸 業種 廃棄物処理業 (RPF製造設備導 入)	事業期間 稼働日 : 2020年4月
事業所 所在地 千葉県市川市 松原床面積 約1,750㎡	区分 新設
補助金額 補助事業 補助率 : 約6,270万円 システム 1/3	特徴 : RPF社産コントロール(コックピット廃棄物の投入割合も工夫)可能 成型機

写真

170

こちらから是非ご覧になってみてくださ  
い！  
★丸幸はP170~です！



出所)環境省 エネルギー対策特別会計補助事業 活用事例集(2021年度)より  
★上記資料は、こちらで検索頂けると掲出されておりますので、宜しければご覧ください！  
【環境省HP(ホーム) → 政策分野・行政活動 → 政策分野一覧 → 地球環境・国際環境協力 →  
エネルギー対策特別会計補助事業 活用事例集(2021年度)】

また、2021年度にも環境省より、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(脱炭素社会構  
築のための資源循環高度設備導入促進事業)の「脱炭素社会構築のための資源循環高度  
化設備導入促進事業」という補助も頂き、光学選別機も導入致しました。

こちらについても、現在稼働中で、今まで人が行っていた選別を機械化することができ、更  
に選別量・選別精度の向上も図れました。  
リサイクルが困難な廃棄物も、こちらで選別し、処理が可能ですのでご相談ください！





## 千葉県SDGsパートナー登録制度



この度、弊社は2022年2月18日付で「**ちばSDGsパートナー**」に登録して頂きました！！  
**「ちばSDGsパートナー**」とは、  
 千葉県独自の取り組みであり、千葉県が県内企業等におけるSDGs推進の機運を醸成するとともに、具体的な取組を後押しするために創設された制度になります。  
 登録の条件として、環境・社会・経済での具体的な取り組み推進と目標設定が必要になり、登録企業はシンボルマーク(SDGsの色に塗られたチーバ君です！)3年間利用出来るほか、県のHPで連携したい企業の取り組み内容を記載することもできます。

### ★弊社が記載させて頂いた内容★

- ①RPF(石油・石炭の代替燃料)の製造を行っていることから、各社様より排出される廃棄物を原料とし、RPF製造を行いたい。
- ②廃プラスチック類を原料とし、固化化したものを水素やアンモニアを生成する会社へ納入している。例えば、各社様から出された廃プラスチック類を弊社で固化化し、水素を生成する会社へ納入。その水素を排出者へ戻し、水素カー等に活用頂くような環境循環ループを形成したい。(各企業とも、各市町村等とも行いたい)になります。



こちらからは是非ご覧になってみてください！  
 ★丸幸は登録No.71です！



## エコファクトリー神々廻の森 工場見学



2022年3月3日(木)に、当社中間処分場である「エコファクトリー神々廻の森」に、廃棄物資源循環学会の約20名程の方々にお越しいただきました！！

廃棄物資源循環学会様は、物質循環と廃棄物管理に関する学の体系化を進め、学術的立場から社会の先導的役割を担い、循環型社会の形成と廃棄物問題の解決に貢献することを趣旨とした団体となります。

当日は約一時間半程度でしたが、チームを半分に分け、会社概要の説明と工場見学をして頂き、弊社の取り組みについて、理解を深めていただくことができました。お越しになられた皆様は、やはり豊富な知識をお持ちで、飛び交う質問のレベルが高く、非常に私共も勉強になることがたくさんありました。

このような業界団体の方々とは、業界の発展に寄与できるよう、共に刺激し合うことができれば大変嬉しく思いますし、何よりも誇りに感じます。

最後になりますが、この度はこのような機会を頂き、非常に良い経験、そして刺激になり、更に業界の為、地球環境の為に貢献して参りたいと、改めて感じる事ができました。廃棄物資源循環学会の皆様、本当に有難うございました！



## 原油価格高騰について



我々にとって、特にロジスティクス部門に関しては切っても切り離せない「燃料」についてのお話となります。ご存じの通り、**原油価格がこの数年で非常に値上がりしております**。車が商売道具でもあるこの業界では、死活問題となっております。この先の世界情勢の見通しがたない今日、今までに無いほどの上がり幅となっており、国の施策としても補助するなどの対応策は講じておりますが、下がる見込みは当面なさそうです。また**車だけではなく、RPFの輸送では船を利用したり、工場では重機を利用したりと見えにくい部分へも影響が出てきております**。今後もより良いサービスの提供をしていくためには、元手となる燃料代の確保は必至であり、排出事業者の皆さまにもご協力を頂く点等あるかと存じますが、ご理解の程、宜しくお願い致します。

一方では、電気自動車や水素自動車、多種多様なハイオディーゼル車なども開発されてきておりますが廃棄物の輸送に利用するには課題が山積み状態です。その課題をクリアし、**モーダルシフトを行い燃料価格に左右されないロジスティクスを行うことが、私たちの使命だと思っております**ので、一緒に解決できれば幸いです！



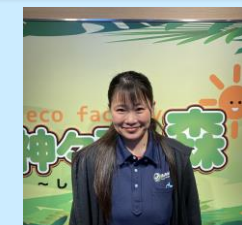
## 社員紹介



名前: 藤田 みなみ  
 所属: 脱炭素推進部 営業課  
 特技: 韓国のことは何でも！  
 趣味: 旅行、スパ巡り  
 自己PR: 前職では美容関係の会社で女性ばかりの職場だった為、なんだか新鮮な気持ちです(笑)早く皆さんのお顔とお名前を覚えていけるように頑張ります！



名前: 佐藤 洋介  
 所属: 脱炭素推進部 DX推進課  
 特技: サッカー  
 趣味: 麻雀、ラーメン屋巡り  
 自己PR: 昨年9月に入社しました。前職はシステムエンジニアとして働いておりました。社内外で「ありがとう」の言葉をいただけるよう頑張ります！



名前: 吉本 雅子  
 所属: 脱炭素推進部 営業課  
 特技: すぐ寝れること  
 趣味: お酒  
 自己PR: まだまだ不慣れでご迷惑をおかけしますが、元気に明るく一生懸命頑張ります！